

事前アンケート
【院内の緩和ケアの質の管理】

施設内の緩和ケアの質の管理について	n=49	
	n	%
● 緩和センターもしくは緩和ケアケアチーム内で定期的に症例検討・カンファレンスを行い、依頼された患者に対する活動を評価・改善している	49	100
● 依頼された患者および緩和ケアセンターもしくは緩和ケアチームの活動に関する情報を収集・分析し、緩和ケアセンター・緩和ケアチームの活動を評価している	49	100
● 緩和ケアセンターもしくは緩和ケアチームの活動を院内・地域に公開している	44	90
● 緩和ケアセンターもしくは緩和ケアチームの年次診療実績を把握し、公開している	34	69
● 緩和ケアに関連する薬剤・医療機器・医療器具などの院内における使用状況を把握し、分析している	24	49

事前アンケート

【院内の緩和ケアの質の管理】 緩和ケアセンター・緩和ケアチームの取り組み

取り組み・工夫例

- 介入後のプロセス・アウトカム評価の実施（秋田，兵庫，岡山，国がん東）
- 介入内容を評価分析するためのデータベースの構築（兵庫，高知）
- 介入患者のSTAS-JやNRSの推移等の緩和ケア管理システムの活用を開始（琉球）
- 緩和医療学会の緩和ケアチームセルフチェックプログラムに参加（滋賀，香川，千葉，福井大）
- GMに加えて、サブマネージャーを配置し、管理体制を強化（青森）

事前アンケート

【院内の緩和ケアの質の管理】 緩和ケアセンター・緩和ケアチームの取り組み

主な問題点・課題

- 質の評価指標を何にするかが問題
- センターやチームの活動内容等の情報を集積しているが、分析・評価が今後の課題
- 情報収集・介入・分析・評価に対応するマンパワーの不足
- 評価につながる情報の収集が不十分

事前アンケート
【院内の緩和ケアの質の管理】
施設全体での取り組み

取り組み・工夫例

- 1回/3年、緩和ケアチーム活動に対するアンケート調査実施（都駒込）
- センターとは別組織の委員会を設置し、多職種持ち回りで施設内の緩和ケアの問題点や提案を発表する改善活動を準備中（新潟）
- センターやチームの活動の集計結果を診療科や看護部に報告（琉球）
- 苦痛のスクリーニングの方法改善，対象拡大，データ管理（多数施設）
- 緩和ケア研修会受講率の向上や看護師対象の緩和ケア研修の開催（多数施設）

事前アンケート
【院内の緩和ケアの質の管理】
施設全体での取り組み

主な問題点・課題

- 苦痛のスクリーニングに対する一般医療者の理解不足
- 苦痛のスクリーニングの普及や方法の簡便化が課題
- 苦痛のスクリーニングによる効果の評価・検証が課題
- 一般医療者による基本的緩和ケアの提供が不十分
- 外来患者の管理体制が不十分
- センター化に伴い施設全体のニーズが多様化し、質の担保が問題
- センターが実施している苦痛のスクリーニングや緩和ケアに関する薬剤使用状況等のデータ収集や管理を、施設の情報センターに委託する